

公益財団法人 国際交通安全学会では、毎年新たに、異なる分野から新会員をお迎えし、当学会の研究の輪に加わっていただいています。私も五年前に、会員に加えていただきまして、その後は各領域の専門家と一緒に、様々な学際研究に携わっております。

私の専門は医学で、いわゆる自動車工学や土木など、交通に直接的に関与する分野ではありませんが、小口泰平会長がいつも強調されるように、当学会は交通とその安全の問題について、様々な角度から学際研究を進めることを旨としており、その中で私も、主に「安全」の問題を中心に、研究活動に参加させていただいている次第です。

こうした中、本年度は城所幸弘氏（経済学）、二村真理子氏（経済学）、北村友人氏（教育学）の三名に、新たに会員となっていたきました。この冊子は、これらの新会員の研究領域並びに、とくに近年、どのような問題意識のもとで研究を進めておられるのかを、皆さまにご紹介することを目的として発行するものです。

新会員となられた三氏には、今後は私たちと一緒に、交通とその安全に関わる様々な研究に取り組み、その才能を遺憾なく発揮されることを期待すると同時に、読者の皆さまには、新進気鋭の新会員たちの問題意識を、この冊子を通じて幅広く共有していただければ幸いです。

二〇二一年一二月



谷川 武

シンポジウム部会企画委員会委員長
愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生・
健康医学分野教授